

徳島県企業局経営計画における令和2年度進捗状況及び評価（概要）

1 徳島県企業局経営計画の推進方策

- ・平成29年度を初年度とする10年間の「企業局経営計画」について、計画的に事業を実施し、効果的・効率的な事業の推進を図るため、PDCAサイクルによる進行管理を実施
- ・令和2年度の進捗状況について、「企業局戦略会議」で評価し、外部有識者による「戦略的経営推進委員会」に報告、意見を聴取
- ・進捗状況及び評価の結果を、企業局ホームページで公表

2 経営計画の達成状況別取組数

取組数	進 捗 状 況			
	A 順調または妥当	B 概ね順調または概ね妥当	C 要 努 力	D 要 見 直 し
51	42 (82%)	7 (14%)	2 (4%)	0 (0%)

主な「B評価」及び「C評価」

経営目標1 社会貢献の加速

- B No. 1：小水力発電の市町村等へのプッシュ式導入支援
(KPI：市町村等による事業化、◎計画策定)
◎市町と共に整備計画（案）を決定、今後事業化に向けた取組を推進
- B No. 9：水源地域で実施する地域の魅力づくりや環境保全事業を支援
(KPI：支援団体数、◎15団体以上／年)
◎「ダム水源地サポート事業」により14団体を支援
- C No. 12：川口エネ・ミューを活用した見学会、学習ひろばや県政バス等の実施
(KPI：川口エネ・ミュー年間延べ体験者数、◎17,800人)
◎一時休館やイベントの中止により大幅に減少、体験者数 6,535人

経営目標3 経営力の強化

- B No. 42：新規需要の開拓や雑用水としての利用拡大等による契約水量の増大
(KPI：契約有収率、◎74%)
◎73%と目標値に未達であったが、将来の契約水量増量見込みを確認
- B No. 43：受水企業訪問、アンケート調査によるニーズ把握
(KPI：受水企業訪問数、◎15社以上／年)
◎全ユーザーにアンケート調査を行うとともに、12社に企業訪問等実施
- C No. 45：駐車場利用者の利便性や安全・安心の向上等を図り、利用台数を確保
(KPI：利用台数、◎20万台以上／年)
◎コロナの影響を受け半減、利用台数 98,741台

※ 「経営目標2 安全安心の確保」については、全て「A評価」

3 経営計画の取組事項と進捗状況の評価

取組事項	項目数	評価			
		A	B	C	D
経営目標 1 社会貢献の加速					
① 自然エネルギー導入の加速	2	1	1	0	0
② 「既存ストックの有効活用」と「政策連携」による地方創生への貢献	8	6	2	0	0
③ 戦略的な情報発信の推進	4	2	1	1	0
経営目標 2 安全安心の確保					
④ 南海トラフ巨大地震・活断層地震、老朽化対策及び事前復興の取組	7	7	0	0	0
⑤ 危機管理体制の強化	4	4	0	0	0
⑥ 適正な施設の維持管理	2	2	0	0	0
⑦ 工事、維持管理等の効率化及びSociety5.0の実装に向けた取組	2	2	0	0	0
経営目標 3 経営力の強化					
⑧ 未来を切り拓く人づくりと組織づくり	7	7	0	0	0
⑨ 経営資源の有効活用	11	7	3	1	0
⑩ 情報収集の強化	4	4	0	0	0
計（再掲を除く）	51	42	7	2	0

4 戦略的経営推進委員会での主な意見（令和3年8月4日開催）

- ・ 川口エネ・ミューにおいて、コロナ対策として取り組んでいる「オンラインの活用」をさらに進めていただきたい。
- ・ 工業用水道事業において、契約水量の増大に努め、収益確保に繋げていただきたい。